

令和5年度第3回北海道環境審議会 点検・評価に関する委員意見・質問と事務局回答

番号・委員	委員意見・質問	事務局回答
1 白木委員 令和5年度 第3回審議会 資料2-1 「令和5年度 点検・評価 の進め方」 1 指標群の 見直し ●目標数値の 変更	目標数値の変更について。 新エネルギー導入量発電分野の2030年度目標値の変更があるとしている。 新エネを増やすことで火力発電を減らし、CO2排出量が減少することも含まれていると思うが、 <u>新エネを増やすことでどのくらいCO2排出量が減少するのか。</u>	【経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課】 ・ゼロカーボン北海道推進計画においては、省エネ・新エネ促進行動計画に基づき設定された2030年度の再エネ導入目標を根拠として、 <u>約603万tのCO2が削減されると算出している。</u> ※添付資料1 「ゼロカーボン北海道推進計画令和4年3月改定版検討時の地球温暖化対策部会資料P4」
2 白木委員 同	増加する新エネ電力のうち、 <u>道内で使用される電力はどのくらいか。</u> ※指標群の数字に誤りがあったので修正 （ゼロカーボン北海道推進計画補助指標） 誤：旧 14,998 百万 kWh → 新 <u>20,455</u> 百万 kWh 正：旧 14,998 百万 kWh → 新 <u>16,490</u> 百万 kWh	【経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン産業課】 ・2030年に道内で使用される電力は <u>16,490 百万 kWh。</u> ※添付資料2 「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画（第III期）の改定（令和4年3月）の概要」～新エネ導入目標値 20,455 百万 kWh から道外移出分 3,965 百万 kWh を差し引き、16,490 百万 kWh と設定
3 中村会長 同	<u>新エネ導入目標の達成により、ゼロカーボン北海道推進計画の目標が達成できる</u> <u>ということか。</u>	【経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課、ゼロカーボン産業課】 ・ゼロカーボン北海道推進計画では、新エネ導入目標の達成に加えて、多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化や森林等の二酸化炭素吸収源の確保などを重点的に進めることで、ゼロカーボン北海道の実現を目指すこととしている。 そのため、同計画の温室効果ガスの排出削減目標（2030年度までに2013年度比48%削減）は、 <u>『省エネ・新エネ促進行動計画』における新エネ導入量目標の達成を前提</u> としている。 ※添付資料3 「ゼロカーボン北海道推進計画資料編P10『削減目標の算出方法』」

※ 資料番号は第3回北海道環境審議会（令和5年10月31日開催）のもの

番号・委員	委員意見・質問	事務局回答																																							
<p>4 山中委員</p> <p>令和5年度 第3回審議会 資料2-1 「令和5年度 点検・評価 の進め方」 I 指標群の 見直し ●目標数値の 変更</p>	<p>新工ネ導入量発電分野の目標は結構な量。あと7年間で達成できるのか疑問。 <u>目標値設定の考え方を伺う。</u></p>	<p>【経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン産業課】 ・『省エネ・新工ネ促進行動計画』で定める新工ネ導入量目標値は、「<u>電化の進展による需要増、省エネや人口減少による需要減などの変化を考慮しつつ、需給調整に対応できるシステムの構築、蓄電池の効率的な稼働、基幹系統・地域間連携線の整備などの事業環境整備が図られることで、2030年度までに達成できる最も高い水準を目標</u>」として有識者会議を経て設定。</p> <p>※新工ネ発電電力量目標参考値 (単位:百万 kWh)</p> <table border="1" data-bbox="874 674 1406 1144"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>2019 (R1) 実績</th> <th>2021 (R3) 実績</th> <th>2030 (R12) 目標 (参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光(非住宅)</td> <td>2,096</td> <td>2,809</td> <td>3,140</td> </tr> <tr> <td>太陽光(住宅)</td> <td>213</td> <td>280</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>陸上風力</td> <td rowspan="2">1,020</td> <td>1,310</td> <td>4,188</td> </tr> <tr> <td>洋上風力</td> <td>3</td> <td>3,965</td> </tr> <tr> <td>中小水力</td> <td>3,159</td> <td>3,385</td> <td>4,133</td> </tr> <tr> <td>バイオマス</td> <td>813</td> <td>1,621</td> <td>2,811</td> </tr> <tr> <td>地熱</td> <td>129</td> <td>113</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>廃棄物</td> <td>1,356</td> <td>1,599</td> <td>1,189</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,786</td> <td>11,120</td> <td>20,455</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典:北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画(第III期)の改定(令和4年3月)の概要)</p> <p>※添付資料2(再掲) 「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画(第III期)の改定(令和4年3月)の概要」</p> <p>※添付資料4 「道内における新エネルギーの導入状況(令和3年度実績)」</p>	種別	2019 (R1) 実績	2021 (R3) 実績	2030 (R12) 目標 (参考)	太陽光(非住宅)	2,096	2,809	3,140	太陽光(住宅)	213	280	400	陸上風力	1,020	1,310	4,188	洋上風力	3	3,965	中小水力	3,159	3,385	4,133	バイオマス	813	1,621	2,811	地熱	129	113	629	廃棄物	1,356	1,599	1,189	合計	8,786	11,120	20,455
種別	2019 (R1) 実績	2021 (R3) 実績	2030 (R12) 目標 (参考)																																						
太陽光(非住宅)	2,096	2,809	3,140																																						
太陽光(住宅)	213	280	400																																						
陸上風力	1,020	1,310	4,188																																						
洋上風力		3	3,965																																						
中小水力	3,159	3,385	4,133																																						
バイオマス	813	1,621	2,811																																						
地熱	129	113	629																																						
廃棄物	1,356	1,599	1,189																																						
合計	8,786	11,120	20,455																																						
<p>5 中村会長 同</p>	<p><u>ゼロカーボン北海道推進計画の2030年の温室効果ガス48%削減や2050年ゼロカーボン北海道の実現などの目標達成に向けて、今後、どのように取り組みを進めていくのか。</u></p>	<p>【経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課】 ・道としては、地域における脱炭素化を促進する新工ネ導入などへの支援とともに、家庭及び事業者の方々の行動変容の促進、森林などの吸収源対策や道有施設の脱炭素化など<u>様々な分野における脱炭素の取組を充実することにより、環境と経済が好循環する「ゼロカーボン北海道」の実現に全力を尽くしてまいる考え。</u></p>																																							

※ 資料番号は第3回北海道環境審議会(令和5年10月31日開催)のもの

番号・委員	委員意見・質問	事務局回答												
<p>6 吉中委員</p> <p>令和5年度 第3回審議会 資料2-1 「令和5年度 点検・評価 の進め方」 I 指標群の 見直し ●項目の追加</p> <p>資料1-2 別表 「令和4年度 点検・評価 指標群一覧 」P1</p>	<p>令和5年度の指標群の見直しによる項目の追加として、個別指標「森林吸収量」目標850万トンCO₂との記載がある。</p> <p>一方で、令和4年度の指標群一覧には個別指標「森林の蓄積と地球温暖化防止機能」として炭素貯蔵量の目標値などが記載されているが、「<u>炭素貯蔵量</u>」と「<u>森林吸収量</u>」は<u>どういった関係にあるのか</u>。</p>	<p>【水産林務部林務局森林計画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> •森林の蓄積と地球温暖化防止機能の「<u>炭素貯蔵量</u>」～幹や枝、根を含む森林全体が蓄積した炭素の量。 •「森林吸収量」 ～適切な整備や保全等が行われた森林の成長に伴う吸収分から、伐採分等を差し引き、さらに建築資材等による貯留や廃棄に伴う増減により、森林の二酸化炭素吸収量を算出。 •どちらも森林が持つ地球温暖化防止の機能を表すが、「<u>炭素貯蔵量</u>」は森林全体が蓄積した炭素の量であるのに対し、「<u>森林吸収量</u>」は適切な整備や保全等が行われた森林が吸収した二酸化炭素の量となっている。 •北海道森林づくり基本計画の改定（令和4年3月）に伴い、北海道森林吸収源対策推進計画の目標である「森林吸収量」を新たに個別指標とした。 <table border="1" data-bbox="876 1115 1426 1435"> <thead> <tr> <th></th> <th>環境基本計画個別指標</th> <th>個別計画</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削除</td> <td>森林の蓄積と地球温暖化防止機能</td> <td>北海道森林づくり基本計画</td> <td>令和4年3月改定により、同計画の関連指標から削除</td> </tr> <tr> <td>追加</td> <td>森林吸収量</td> <td>北海道森林吸収源対策推進計画</td> <td>令和4年3月に改定し、同計画の目標として設定</td> </tr> </tbody> </table>		環境基本計画個別指標	個別計画	備考	削除	森林の蓄積と地球温暖化防止機能	北海道森林づくり基本計画	令和4年3月改定により、同計画の関連指標から削除	追加	森林吸収量	北海道森林吸収源対策推進計画	令和4年3月に改定し、同計画の目標として設定
	環境基本計画個別指標	個別計画	備考											
削除	森林の蓄積と地球温暖化防止機能	北海道森林づくり基本計画	令和4年3月改定により、同計画の関連指標から削除											
追加	森林吸収量	北海道森林吸収源対策推進計画	令和4年3月に改定し、同計画の目標として設定											

※ 資料番号は第3回北海道環境審議会（令和5年10月31日開催）のもの

番号・委員	委員意見・質問	事務局回答
<p>7 大橋委員</p> <p>令和5年度 第3回審議会 資料1-2 別表 「令和4年度 点検・評価 指標群 一覧」P2</p>	<p>バイオマス利活用率の<u>目標年が令和4年度</u>となっている。 令和5年度の進捗状況の点検・評価に当たって、<u>目標年次が令和4年度</u>のものは、見直ししないのか。</p>	<p>【経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン産業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の点検・評価は、令和4年度の取組を記載しており、<u>指標等についても現時点で把握できる最新の数値を記載。</u> 『バイオマス活用推進計画』は、現在見直しに向けた検討を行っているところであるが、現在検討中の新たな北海道総合計画の中でバイオマス利活用率の新たな目標を掲げる予定であり、総合計画の策定にあわせて、環境基本計画の指標についても見直しを行う。 なお、バイオマスのほか、環境配慮活動実践者（環境生活部）、廃棄物（環境生活部）、クリーン農業推進計画（農政部）など<u>目標年次が近づいている指標等は、個別計画・関連計画の改定後、順次、目標年度や目標値の見直しを行う予定。</u>
	<p>全体的に実績が出るのが遅い。 <u>速報値でもよいので、なるべく早く実績を出す工夫をしつつ、目標数値は、未来の年度を示して、それに対してどういう進捗状況にあるかを測っていくべき。</u> その工夫も今後の課題として意識するべき。</p>	<p>【環境生活部環境保全局環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>温室効果ガス排出量は、確定値に加えて、できるだけ早期に概要を把握するため、速報値、推計値を掲載。</u> 計画の実効性向上に向けて、委員意見を各部局と共有。

※ 資料番号は第3回北海道環境審議会（令和5年10月31日開催）のもの

番号・委員	委員意見・質問	事務局回答
<p>8 中村会長</p> <p>令和5年度 第3回審議会 資料1-2 「令和4年度 点検・評価 結果(案) 【概要版】 」P10 進捗状況の 評価と課題</p> <p>資料2-1 「令和5年度 点検・評価 の進め方」 I 指標群の 見直し ●項目の追加</p>	<p>進捗状況の評価と課題がわかりにくい。 例えばヒグマについて、「ヒグマによる人身被害はほぼ毎年発生しており被害の防止に向けた普及啓発とあわせて野生鳥獣の適正な保護対策の取組の推進が必要」と当たり障りのないことが書いてあるだけ。</p> <p>また、指標群の見直しとして「ヒグマ人身被害数」、「ヒグマ捕獲数及び農業被害額」を令和5年度に補足データとして追加するとあるが、<u>ヒグマに関する別の会議でこれらの達成状況の点検・評価などがされ、それを環境審議会で説明するのか。</u></p> <p><u>令和5年度に追加される評価(指標群)は、我々が評価するのではなく、何らかの部会なりで既に評価されているものが出てくるのか。その評価を我々がチェックするのか。</u> 例えばヒグマの被害数が出てきて、それをどうやって評価するのか、<u>施策が実行されているかどうかを評価しろということではないか。</u></p>	<p>【環境生活部自然環境局野生動物対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標群のうち「補足データ」は施策の進捗状況の把握のほか、目標の達成状況の評価を補足するために設定。 令和5年度第1回環境審議会でのヒグマに関する指標群の設定がない旨のご意見を踏まえ、ヒグマの適正な保護管理に係る取組の進捗状況を把握するために、「ヒグマ人身被害数」、「ヒグマ捕獲数及び農業被害額」を補足データとして設定。(北海道ヒグマ管理計画は目標値等の設定なし) 北海道ヒグマ管理計画を適正に推進するために設置された<u>北海道ヒグマ保護管理検討会では、今回お示ししたデータも参考にして、今後の施策を検討しており、これを踏まえて、環境基本計画の点検・評価を実施。</u> <p>【環境生活部環境保全局環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標については、個別計画の評価の中で有識者会議などにより議論されているものもあるが、本審議会においては、<u>道が実施した点検・評価の結果(案)に対して各々専門の立場からご意見をいただき、いただいたご意見は各課に周知し、施策の見直しに活かしていく。</u>
<p>9 中村会長 能條委員</p> <p>令和5年度 第3回審議会 資料1-2 「令和4年度 点検・評価 結果(案) 【概要版】 」P10 進捗状況の 評価と課題</p>	<p>増減だけでは達成度などがわからず、指標を設定した意味もわからない。<u>指標設定の目的などを説明してほしい。</u> また、<u>現状に対する対応についても記載してほしい。</u></p> <p>(指標群について) <u>前より減りましたが、増えただけでは、どのような達成度になっているか分からない。</u></p>	<p>【環境生活部環境保全局環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「令和5年度北海道環境基本計画[第3次計画]に基づく関連指標群の状況(案)」に、施策の基本的方向性、指標設定の考え方、指標群の出典を記載。 あわせて<u>施策の実施によりどのような状況にあるのか、指標群の進捗についても記載。</u>

※ 資料番号は第3回北海道環境審議会(令和5年10月31日開催)のもの